

RSS の活用


インターネット上にあるコンテンツには、定期的に更新されるものばかりではありません。不定期に更新があるような場合、参照するコンテンツの数が少ないなら、気の向いたときにチェックすればいいでしょう。しかし、その数が多くなってくると、どうでしょう？チェックする手間や時間が増えてしまいますよね？

その更新を知る方法として、RSS というものがあります。ここでは、この RSS をどのように活用するかについて解説します。

RSS とは？

RSS は、コンテンツシンジケーションフィードといわれるサイト間でコンテンツ情報を共有するファイルを指します。フィードとは、機械可読なファイルを意味しています。本来の使い方から拡大して、現在では更新の連絡に用いられています。

どこで使われているの？

RSS は、様々な場面で利用されています。普段は見過ぎていたり、明示的でなかったりします。どうすれば、RSS の存在を見つけることができるでしょうか？多くの場合、マークが Web ページに張り付けてあります。注意深く、以下のページを見ていきましょう。オレンジ色の電波を示したマーク  や「XML」や「RSS」とあるマークやリンクがその RSS です。

大阪大学のトップページ

<http://www.osaka-u.ac.jp/>



各新聞社

朝日新聞 <http://www.asahi.com/>

毎日新聞 <http://mainichi.jp/>

見つけることが出来ましたでしょうか？上記のように、サイトの内容に更新があるものに RSS フィーダーが付いていることが分かります。サイトの内容に更新が生じた場合、サイトの管理者はなんとか購読者に効率よくその更新を伝えたいと考えます。また、購読者も更新が生じた時のみ閲覧すればよいこととなります。お互いにとって、効率がよくなる便利な仕組みなのです。ブログのようなものであれば、いつ更新があるかわからないため、RSS を使うことでより効率的に閲覧できることとなります。

Google リーダーを使う

RSS の便利さは、実際に使用することで理解できると思います。使用するために RSS を読み取るアプリケーションを導入しましょう。導入といっても、ソフトをインストールするのではなく、Google のサービスにある「Google リーダー」を使用しましょう。Google アカウントをもっていれば、Web ブラウザーだけで使用できます。

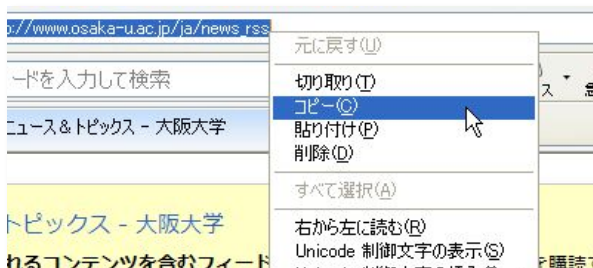
自分で見つけたサイトの RSS フィーダーを登録する

RSS フィーダーのリンクをコピー

Web ブラウザーで購読したいサイトの RSS リンクをクリックします。



開いたページの URL をコピーします。



Google リーダーを開く

Google リーダーのページを開いてください。



フィードの追加

「登録フィードの追加」ボタンを押すと、フィードのアドレスを入力する欄が現れます。そこにコピーしたフィードのアドレスを貼り付けて、「追加」ボタンを押すと新たにフィードが追加されます。



登録されたフィードは、画面左下の「登録フィード」の欄で確認できます。



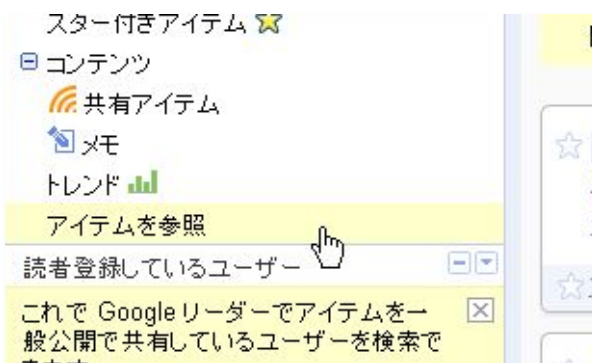
Google リーダー内でフィーダーを探す

Google リーダーを開く

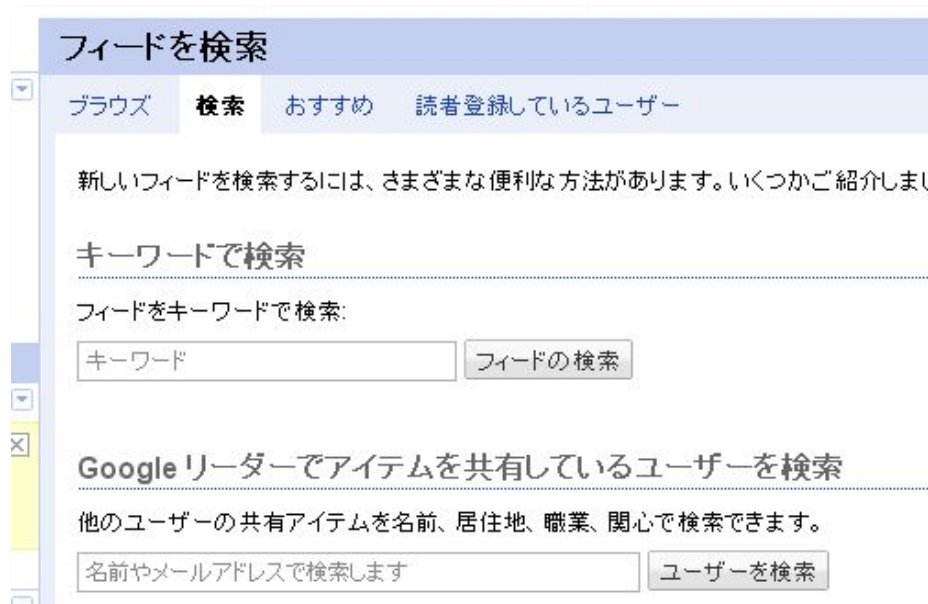


「フィードを検索」を使う

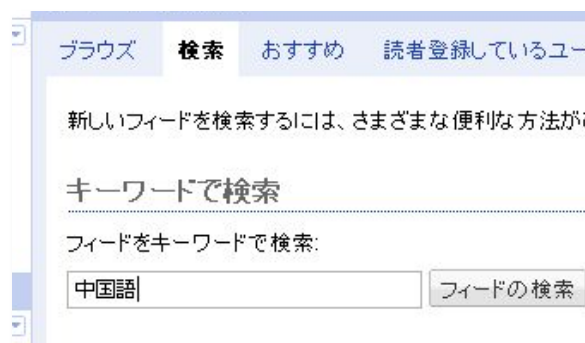
画面左の「アイテムを参照」をクリックして、「フィードを検索」画面にします。



「検索」をクリックして、
検索用の表示に変えます。



例えば、キーワードで“中国語”と入力し「フィードを検索」ボタンを押します。すると、関連するフィードが列挙されます。



興味のあるフィードで「登録」ボタンを押せば登録されます。





Google リーダー以外のソフト

ここでは、Google リーダーを例に解説してきました。他にも、InternetExplorer 単体でも RSS フィーダーは読めます。立ち上げたままのアプリケーションには、フィーダーを読み込む機能が付いていることが多いです。